

## 基本理念

草加市立病院は、市民のいのちと健康を守り、地域医療の中核を担うことを使命とします。

# 草加市立病院



(仮称) 新医療センターは現在の市立病院に隣接して建設されます

## 《仮称》新医療センターが 目指す救急医療

—3月から建設工事が始まります—

市立病院では心臓病や脳血管疾患の専門的治療を行い、重篤な腎臓疾患の血液浄化を行う人工透析機能を併設した《仮称》新医療センターを建設します。また、同センター内には併せて急病の子どもへの一次救急に対応する施設として、《仮称》小児夜間救急センターを開設します。

### 新たな施設の整備が 急務に

草加市では救急搬送患者が年間約9700人発生し、そのうち40%以上を市立病院が受け入れています。今後は高齢化が進み、救急患者のさらなる増加が予測されます。特に3大疾病と言われている心臓病(心筋梗塞、心不全)、脳血管障害(脳梗塞、くも膜下出血)などは救急医療においても重症度が高く、一分一秒を争う緊急の処置が必要で、そのような患者さんを専門的に受け入れる施設の整備が求められてきました。

### 脳・心臓疾患は 救命医療に対応

新たに建設する施設は草加市では初めてとなる救命医療を行う



また、小児救急においては、草加市保健センターに併設された夜間急患診療所を利用する患者数が減少し、市立病院に軽症者を含めた患者さんが集中していることから、市立病院の小児科医師に大きな負担がかかり、救急診療体制の維持が危ぶまれています。

さらに、同センターの1階部分には、草加市保健センターに併設の夜間急患診療所が移転し、《仮称》小児夜間救急センターとしてオープンします。ここで受け入れた症状の重い患者さんに対しては、時間をおかず市立病院に紹介され、病院でレントゲン検査をはじめ様々な精密検査が可能となります。

### 平成24年4月開院予定

開院予定の《仮称》新医療センターは現市立病院の東側スペースに建設します。平成23年3月から工事を開始し、平成24年3月に建物完成する予定です。開院は平成24年4月を予定しています。



## 平成23・24年度採用 市立病院看護師を募集

《仮称》新医療センターの開院に向け、看護体制をより一層充実させるため、次のとおり看護師を募集します。

■受験資格 昭和41年4月2日以降に生まれ、看護師免許を有する人または平成24年4月1日(①の試験の場合は平成23年4月1日)までに免許取得見込みの人

■採用人数 各20人

■試験日 下表のとおり

■試験 論文、面接

■試験 論文、面接  
■試験 論文、面接  
■試験 論文、面接  
■試験 論文、面接  
■試験 論文、面接  
■試験 論文、面接

採用予定日	試験日	申込期限
①平成23年6月1日	①平成23年3月12日(土)	①平成23年3月8日(火)
②平成23年8月1日	②平成23年5月28日(土)	②平成23年5月24日(火)
③平成23年10月1日	③平成23年7月23日(土)	③平成23年7月19日(火)
④平成23年12月1日	④平成23年9月17日(土)	④平成23年9月13日(火)
⑤平成24年2月1日	⑤平成23年11月19日(土)	⑤平成23年11月15日(火)
⑥平成24年4月1日	⑥平成24年1月21日(土)	⑥平成24年1月17日(火)

②～⑥の試験で免許取得見込みの人は平成24年4月1日採用となります。

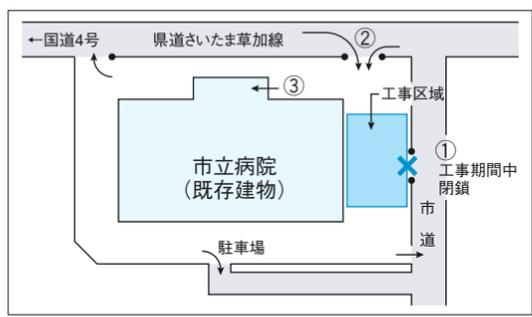
ホームページからもダウンロードできます。  
市立病院経営管理課 ☎ 946・2200 ③3003



## 《仮称》新医療センターの 建設工事に伴い 市立病院の 出入口などを 変更

市立病院の出入口が3月から《仮称》新医療センターの建設工事了了(平成24年3月を予定)まで一部変更になります。

○東側市道からの車両入口(地図①)は閉鎖され、北側県道の車両入口(地図②)からのみ進入できます。  
○病院への時間外出入口が、北側の主出入口の東側(地図③)になります。



また、工事期間中は駐車場の一部が使用できなくなるため、混雑が予想されます。できる限り、公共交通機関の利用をお願いします。

# (仮称)新医療センターの主な機能

## 循環器センター

心筋梗塞や心不全は致死率の高い病気です。さらに解離性動脈瘤などは緊急の外科的手術以外では救命できません。このような心臓疾患全般にわたる急性期治療を、循環器内科と心臓外科の医療チームが一体となって取り組んでいきます。

施設には、心臓疾患集中治療室(CCU)に隣接して血管撮影室があり、救急車で搬送された患者さんの閉塞した冠動脈を直ちにカテーテルで開通したり、その後の血流を保持するための血管内ステント(コイル)の植え込みなどが実施されます。また、手術が必要な患者さんを病棟から手術室へつなぐ連絡通路によって直ちに移動できるよう

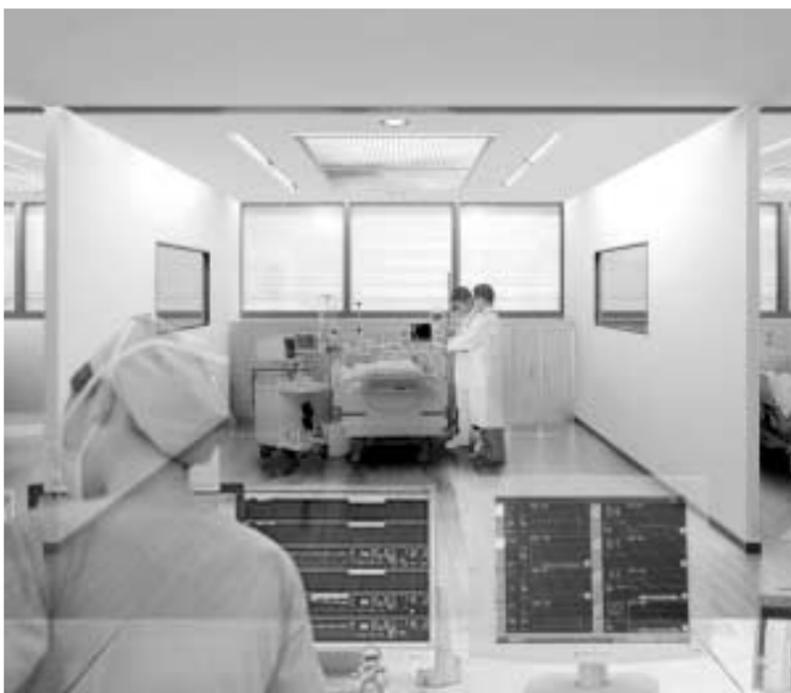
## 脳卒中(ストローク)センター

になります。

脳卒中とは脳梗塞や脳出血など全ての脳血管障害を含む病気の総称です。脳血管障害は急性期治療がその予後を大きく左右します。

センターに設置される脳血管障害集中治療室では、様々な神経所見の変動を早期に捉え、症状の進行を抑えるための治療を専門医と関連部門が一体となって行います。

発症後に起きた四肢の麻痺、失語などに対しては、病気の初期からベッド上で直ちにリハビリテーションが開始されます。また、ベッドサイドでの急性期運動リハビリテーションが可能で、設備も用意されます。



ICU・CCUイメージ



透析治療室イメージ

このように全てに先手を打った専門的な治療が総合的に展開されます。

## 腎臓センター・透析治療室

糖尿病の進行により腎機能が悪化し、透析治療が必要となる患者さんが増えています。新たに透析治療を受けられる患者さんだけでなく、脳卒中や心臓疾患などの合併症を併発している長期透析患者さんにも対応できる透析施設として整備します。

## (仮称)小児夜間救急センター

市立病院に隣接した場所あるいは敷地内に、小児患者の時間外診療所を設け、応急的な処置としての一次医療と、入院などの必要な二次医療を連続して行うことは、これまで草加市が考



草加八潮医師会医師による小児救急診療

5F	研修施設 院内保育施設
4F	腎臓センター・透析治療室 (透析ベッド40床)
3F	脳卒中センター (集中治療室12床)
2F	循環器センター (集中治療室8床)
1F	(仮称)小児夜間救急センター、救急部門、 (仮称)救急ステーション

■(仮称)新医療センター建築概要  
 建築面積：1,165.96㎡  
 延床面積：4,956.89㎡  
 構造：鉄骨造  
 階数：地上5階



救命率の向上を目指して

## (仮称)救急ステーション

草加市消防本部では(仮称)新医療センター内に設置される(仮称)救急ステーションに救急隊と高規格救急車1台を配置します。市立病院周辺地域からの救急通報から現場到着までの時間短縮と救命率の向上を目指



院内保育室イメージ

## 院内保育室

市立病院で働く医療スタッフの0歳から3歳児までの乳幼児を預かる施設です。医療スタッフは勤務時間が不規則であることから、個々の勤務時間に対応できる保育施設の整備が必要とされてきました。

全国的に医師・看護師不足が深刻化していますが、市立病院では女性スタッフが出産後も子育てをしながら安心して勤務を続けられるよう支援していきます。



脳神経外科部長 新井 俊成

## 救命後の機能回復のために

脳卒中は高齢者に限った病気ではありません。当院では年間400例に達する脳卒中患者さんを受け入れています。40歳から50歳代までの方が全体の約15%を占めます。予想外に若い患者さんの存在に、ショックを受けるスタッフもいますが、それだけに救命後の言葉や四肢の機能回復が極めて重要となります。

は、脳卒中治療専用ベッドであり、医師、看護師、リハビリ科などの専属スタッフが担当します。ここの治療成績は従来の一般病棟での治療に比べれば、生命・機能予後など全てにおいて優れています。くも膜下出血は緊急の外科治療を必要としますが、その後の機能の回復にはリハビリや栄養管理など患者さんの総合的管理が大切です。当院では新しい試みとして、集中治療室内に発症後早期からリハビリを行えるスペースを設け、迅速な機能回復が図られるよう取り組んでいきます。

## 担当専門医の声

現在日本は世界に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでいます。今後10年で団塊の世代が後高齢者の仲間入りをするに、心筋梗塞、不整脈、心不全など循環器疾患の治療管理がますます重要になってくると思います。

## 心臓外科と連携した治療を

循環器科部長 土信田 伸夫

施設で、日夜時間を問わずいつでも患者さんを受け入れ、あらゆる治療を迅速に提供できる施設です。病室(CCU)に隣接した血管撮影室では冠動脈疾患に対する心臓カテーテル治療が可能で、バイパス手術など緊急に手術が必要と判断された方は、そのまま同階にある手術室に移動することができます。

草加市民の救命を第一義として、安心で充実した長寿社会を形成する一翼を担えるよう、スタッフ一同精進を重ねていきたいと思っております。





# 子どもの病院へのかかり方を見直してみよう

## 受診は体制が十分に整った昼間に

昼間から症状が出ているのにあえて夜間に市立病院の救急外来を受診する小児患者が増えています。中には緊急の処置を要しない軽症の患者さんが多く、行ける検査が限られるなど、通常の診療時間帯と比べると十分な診療を行うことはできません。夜間や休日に慌てることのないよう、身近に「かかりつけ医」を持ち普段から受診することで、病気の早期発見や予防につなげることができます。子どもの病院へのかかり方を見直してみよう。

### まずはかかりつけ医へ

市立病院小児科は肺炎や脱水など、重症な患者さんの入院診療に力を入れています。これは市内に小児の入院診療を行っていない施設が市立病院以外にないからです。また、CTやMRI、脳波、超音波などの高度な検査機器も整っているため、けいれんや心雑音などの詳しい検査が必要な子どもへの診療も担っています。

子どもが病気になったとき、最初から市立病院を受診する方がいますが、まずは身近な「かかりつけ医」を受診すると安心

### 医療機関ごとの特徴

#### 医療所、医院、クリニック

- 数多くの症例を診察してきたベテランの医師  
→ 「かかりつけ医」
- 健康相談、育児相談など
- 軽度の病気やけがなど



必要に応じて紹介

#### 市立病院

- 入院治療
- 二次救急
- 専門外来  
(小児科の場合、心臓・神経・腎臓・アレルギー外来など)
- 「かかりつけ医」からの紹介患者さんの外来



### 昼間の受診をおすすめします

これらの医療機関が診療を行っている時間帯は、医師や看護



## 早く飲めば早く効く？



クマガイこどもクリニック 院長 熊谷 昇

市立病院の救急外来で準夜帯に小児の診療をしていると、軽い風邪や鼻水などで受診してしまおう方が多いように感じます。「風邪薬は早く飲めば早く効く」と多くの方が思い込んでしまっているようです。しかし、現在の医療レベルでは風邪の原因はウイルスですが、ウイルスを早く体の外に出す薬は存在しないのです。総合感冒薬の中には咳止め、鼻の薬、解熱剤が入っています。しかし、強い咳止めは肺炎の原因になります。鼻の薬も風邪に有効

でないばかりか副作用で心臓に負担をかけることがあります。解熱剤を飲むと体が微生物と戦わなくなり、ウイルスは2、3日長く体の中に残ることになります。アメリカでは多くの州で子供の総合感冒薬の販売は禁止されています。風邪薬は全く効かないばかりか、子供の場合はまれに副作用で亡くなってしまいうことがあからずです。夜間に風邪で救急に早くかかる必要はありません。慌てず昼間、かかりつけの医療機関を受診してください。

### 急病の時は市立病院へまず電話で相談を

それでも夜間や休日に急病や緊急を要する場合は、市立病院を受診してください。その際は直接来院せず、まずは電話での相談をお願いしています。市立病院では小児科医師の指導のもとで看護師が電話で症状などを聞き、対処方法を説明しています。

また、埼玉県では小児救急電話相談を開設し、子どもの夜間の急病の際に医療機関への受診の要否や応急処置の方法を助言しています。電話番号は局番なしの「#8000」で、月々土曜日は午後7時から午後11時まで、日曜・祝日・年末年始は午前9時から午後11時まで相談に応じています。

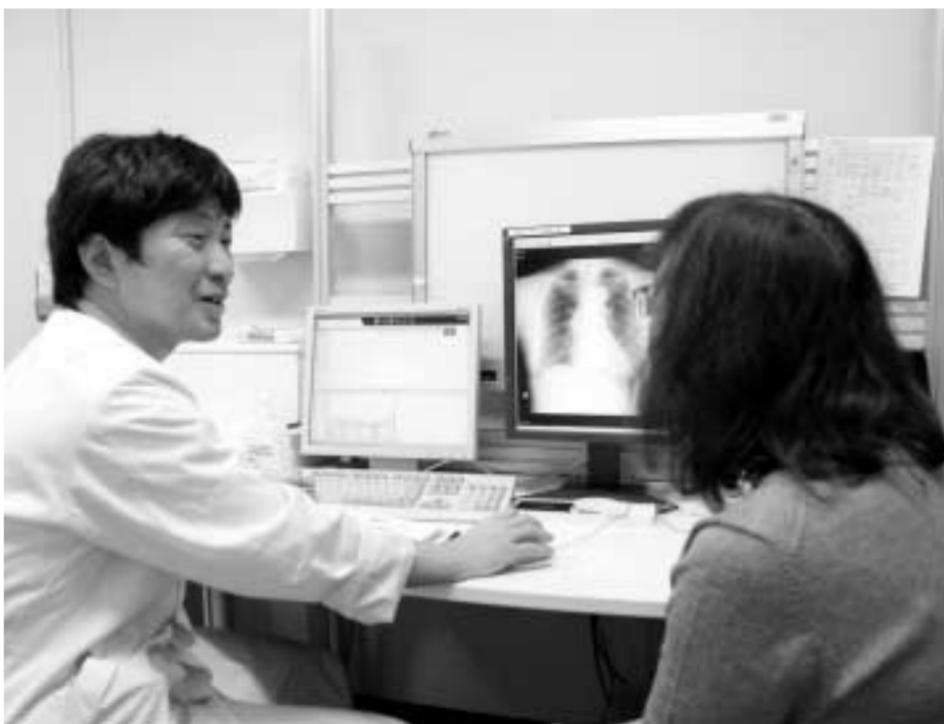
### 小児夜間救急センターを開設

市立病院では安定した小児医療を提供できるよう、草加八潮医師会のご協力のもと、週2、3回午後7時30分から午後10時

30分まで、同医師会に所属する医師に市立病院の小児救急診療に参加いただいています。そして、平成24年度からは病院敷地内に設置される(仮称)小児夜間救急センターで、同医師会に所属する医師によって小児の一次救急診療が行われる予定です。

同センターで医師会所属医師が診療を行い、検査や入院が必要な患者さんについては市立病院に紹介し、市立病院小児科医師が二次救急診療を行います。患者さんの症状によって医師の役割を分担することで、医師の負担を軽減できるほか、市立病院の本来の役割である重症の患者さんへの手厚い救急医療の提供が期待されています。

同センターでは原則として、来院した患者さん全員に診察を行う予定です。しかし、医療スタッフ数など診療体制の面からも安心して医療を受けるには昼間が一番です。夜間や休日に慌てないよう、身近に「かかりつけ医」を持ち、普段から受診することをおすすめします。



# 1年に一度は 人間ドックを受診しませんか？

—新たなコース設定で検査項目が充実—

「自分の体に悪いところがないか。けれど病気になるのは早く見つけてほしい」とこんな不安をもっている方は多いのではないのでしょうか？人間ドックで病気を早期に見つけることが大切です。

市立病院では人間ドックをより充実させ、利用しやすい内容にするため、検査項目や検査の組み合わせを見直し、平成23年4月から新たなコース設定で実施します。生活習慣病やがんを小さな芽のうちに発見・治療し、病気の悪化や合併症の発症を予防するために、年に一度の人間ドックを受診をおすすめします。

## 人間ドックのご案内（平成23年4月以降）

### 検査項目・料金・実施日

※人間ドックの基本コースでは胃透視（バリウム）検査と内視鏡（胃カメラ）検査のどちらかを選択できます。

※人間ドックの精密コースは40歳以上の方にお勧めするコースです。

※実施日は祝日を除きます。

	人間ドック					脳ドック
	基本コース		精密コース			
	胃透視	内視鏡	脳コース	肺コース	脳・肺コース	
料 金	43,560円	46,310円	76,480円	71,970円	87,190円	36,820円
実 施 日	火・金曜日					水・木曜日
身 体 計 測	○	○	○	○	○	
眼 科 検 査	○	○	○	○	○	
聴 力 検 査	○	○	○	○	○	
肺 機 能 検 査	○	○	○	○	○	
心 電 図 検 査	○	○	○	○	○	○
腹 部 エ コ ー 検 査	○	○	○	○	○	
尿 検 査	○	○	○	○	○	
便 潜 血 検 査	○	○	○	○	○	
血 液 検 査	○	○	○	○	○	○
胸 部 ・ 腹 部 X 線 検 査	○	○	○	○	○	
胃 部 X 線 (バリウム) 検 査	○					
胃 部 内 視 鏡 検 査		○	○	○	○	
脳 MRI・MRA 検 査			○		○	○
肺 CT 検 査				○	○	
内 臓 脂 肪 検 査				○	○	
骨 塩 検 査			○	○	○	
血 液 腫 瘍 マ ー カ ー (※)			○	○	○	○

(※) 血液腫瘍マーカーは男性はシフラ・CEA・PSA、女性はシフラ・CEA・CA125の検査を行います。

### オプション検査

オプション検査のみの受診は受け付けておりません。人間ドックのいずれかのコースに追加して受診できます（脳ドックには追加できません）。追加料金は次のとおりです。当日のお申し込みはできませんので、ご希望の方は予約時に必ずお申し込みください。

オプション	追加料金	検査項目
女性オプション	12,780円	子宮頸部細胞診、経膈エコー、乳腺エコー、マンモグラフィ
血液腫瘍マーカー ※基本コースにのみ追加可	4,560円	血液腫瘍マーカー (男性：シフラ・CEA・PSA) (女性：シフラ・CEA・CA125)

### 脳・肺のコースを新設

市立病院の人間ドックはこれまでの「基本」「脳」「精密」の3コースから、「基本」「精密」の2つのコースにしました。精密コースでは、脳MRI・MRIが追加された「脳コース」、胸部CTと内臓脂肪検査が追加された「肺コース」、両者を含んだ「脳・肺コース」から利用いただく方の目的に応じて選択できるようにしました。また、脳についてのみ検査を受けたいというご要望もあることから、「脳ドック」についてもこれまで通り選ぶことができます。

特に40歳以上で一度も人間ドックを受診したことがない方には、加齢とともに増加する脳疾患、呼吸器疾患について検査する「脳コース」「肺コース」の受診をおすすめします。

### 脳の検査

脳梗塞やくも膜下出血などの脳の病気が、自覚症状がなくてもひそかに進行している場合があります。発症してしまうと、その後の生活に非常に大きな影響を及ぼす場合があります。

脳MRI・MRA検査では磁力線を利用して脳の状態を調べます。MRIでは脳梗塞や脳腫瘍などの有無を、MRAでは脳動脈瘤などの血管の病気の有無を調べます。

### 肺の検査

肺CT検査ではX線を利用して肺の状態を調べます。肺腫瘍や肺気腫（タバコ肺）、石綿関連の病気などの有無を調べることができます。心臓（冠動脈）や大動脈の疾患が判明すること

### ○申込方法

- ・人間ドック・脳ドックの受診はすべて予約制です。
- ・毎月1日から、電話にて3か月前（その月の月末まで）の予約を開始します。電話受付は午後1時から4時までです。
- ※1日が休診日の場合は、翌診療日に予約を開始します。
- ※受付開始日は電話のみ予約可能です。受付開始翌日から窓口での申し込み（午後1時から4時まで）も受け付けます。

ご予約 市立病院健康管理科 ☎946-2218

## 発症する前に 人間ドックで早期発見を

市立病院  
健康管理科医長 大澤 真

元気だったのに、ある日突然倒れた…。ちらほら聞く話ではないでしょうか？  
交通事故やインフルエンザはまさしく「元気だったのに、ある日突然」降りかかるものです。しかし、「症状がない」にもかかわらず実は病気が潜んでいた、ということもよく

あります。糖尿病や高血圧などのいわゆる生活習慣病はそれ自体では症状がなく、かなり進行して重症化してから、もしくは心筋梗塞や脳出血といった合併症が起きてからでないといふ状況が乏しい疾患です。がんも年余にわたって進行して症状が出るケースが多いです。

しかし、これらの疾患も早期に発見して早期に治療すれば、合併症を予防でき、治療も不可能ではありません。人間ドックなら通常の健診ではカバーできない疾患でも発見できる可能性がありますし、専門の科を紹介することもできます。これまで受診してない方にもぜひ人間ドックを受診していただきたいものです。

があります。診療のCTよりもX線の量が少なくなっており、喫煙本数あるいは年数の多い方には受けていただきたい検査です。同時に内臓脂肪の測定も行っています。